

学習状況を表す客観的な指標

学校法人 後藤学園 藤華医療技術専門学校

学生の学修を支援するうえで、個々の学生の学修状況を客観的に表す指標が重要である。本校では、その客観的な指標として、各科目の成績評価を点数化(100点満点)し、学年の全履修科目の平均点を採用している。この指標は、学生や保護者と共有することにより、個々の学生の学修支援に活用する。

1. 指標の計算方法について

学生個々の指標は、下記の方法で計算する。

(当該学年の全履修科目の評価点(100点満点)の合計) ÷ (当該学年の全履修科目数)
※ 指標は、小数点第1位 (小数点第2位を四捨五入) までとする。

2. 客観的な指標に基づく成績の分布と下位 1/4について

クラスの成績分布については、下表のとおり行い、学習支援の資料とする。

平均点分布表 ()学科 ()年

平均点	人数	備考
100～90点		
89～80点		
79～70点		
69～60点		
60点未満		
備考 下位 1/4 について	該当する人数 人	その指標数値 点以下

3. 科目の5段階評定について

- 1) 科目の成績評定は、下表のとおり5段階の評定(S、A、B、C、D)を設定する。
なお、受講を途中で中止した科目については、評定をF(評定不能)とする。

可否区分	評定	成績	備考
合格	S	100～90点	
合格	A	89～80点	
合格	B	79～70点	
合格	C	69～60点	
不合格	D	60点未満	単位未修了
受講中止	F	評定不能	単位未修了

- 2) 各科目の成績は、試験や課題、出席状況等を総合的に評価し、100点満点で表す。
- 3) 評定D、Fについては、当該の科目は単位未修了となる。

4. 学習成績と学習支援

- 1) 成績評価は、学生の学修状況を客観的に示す指標として、学生の学習指導に活用する。
- 2) 各科目の成績は、家庭通信等により、保護者及び学生と共有することを原則とする。
- 3) 各科目の成績は、学生個々の学修状況の指標であり、必要に応じて学生支援を実施する。
- 4) 成績不良学生の支援
 - 成績不振学生、特に、下位1/4に該当する学生には、学科長及び担任の面性指導や課外指導等を行う。
 - 成績が60点未満の科目を持った学生については、学科長及び担任の面接指導を行う。
 - 成績が60点未満の科目を2科目を持った学生については、学科長及び担任による保護者・学生の面接指導を行う。